別記第1号様式（第5条関係）

育児休業申出書

申出年月日　　　　 年　 月　 日

 公立大学法人山口県立大学理事長　様

申出者　所属

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 職

氏名　　　　　　　　　　　　印

下記のとおり育児休業の申出をします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １ 申出に係る子 | 氏　　　 名 |  |
| 続　　　 柄 |  |  |
| 生 年 月 日 | 　　　年　　月　　　日生 |
| ２ 申出の内容 |  □　育児休業　　　　　　□　育児休業開始予定日の変更 □　育児休業終了予定日の変更(延長) |
|  □　再度の育児休業　　　□　再度の育児休業に係る開始予定日の変更 □　再度の育児休業に係る終了予定日の変更(延長)(再度の育児休業、再度の育児休業に係る開始予定日の変更等が必要な事情を記入) |
| ３ 申出期間 | 　　年　　月　　日から　　　　年　　月　　日まで |
| ４既に育児休業(申出)をした期間 | 　　年　　月　　日から　　　　年　　月　　日まで |
| 　　年　　月　　日から　　　　年　　月　　日まで |
| ５ 備　　考 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| (注) | ①　この申出書には、申出に係る子の氏名、申出者との続柄及び生年月日を証明する書類（住民票の写し、医師又は助産師が発行する出生（産）証明書、母子健康手帳の出生届出済証明書、官公署が発行する出生届受理証明書などのいずれか）を添付すること（写しでも可）。　　ただし、再度の育児休業、再度の育児休業に係る開始予定日の変更等の申出の場合は、省略することができる。②　子の出生前に申し出る場合は、「３　申出期間」欄は出産予定日以降の期間とし、「１　申出に係る子」欄の記入は、出生後、速やかに行うこと。③　「４　既に育児休業（申出）をした期間」は、育児休業開始日の変更の場合はその申出をした期間を、その他の場合は実際に育児休業をした期間を記入すること。④　「５　備考」欄には、（ア）申出に係る子以外に３歳に満たない子を養育する場合、その氏名、申出者との続柄及び生年月日、（イ）申出に係る子が養子の場合においては、養子縁組の効力が生じた日、（ウ）申出に係る子以外の子について現に育児休業の申出をしている場合においては、その旨並びに当該申出に係る子の氏名及び当該申出に係る期間等について記入する。⑤　該当する□にはレ印を記入すること。 |